



Focus on !! 今、タイとの国際交流がととてもHOTです!!

研究高度化・グローバル化特別対策室（通称：研グロ）では、海外協定校と活発な学術交流を進めています。中でも特に、3大学と部局間学術交流協定を締結しているタイ王国は、本学工学部で最も人的交流が盛んな国の1つです。本報のFocus onでは、工学部と交流があるタイ国内の大学との最新の交流状況についてご紹介します。

日本とタイの交流が始まったとされる15世紀以降、両国は良好な人的交流を続け、平成26年には、訪タイ日本人は約130万人、訪日タイ人は約66万人^{*1}に達しています。その中で、岩手大学工学部は、平成14年1月にチュラロンコン大学（理学部）とタイの大学としては初めて部局間学術交流協定を締結し、その後、平成26年11月にキングモンクット工科大学ラドカバン校（理学部）と、同年12月にタマサート大学（工学部）と相次いで部局間協定を締結しました。また、現在、キングモンクット工科大学トンブリ校で教員をされている本学卒業生を平成25年1月に招聘するなど、同校とも人的交流を進めています。

交流がある4校とも、バンコク市内もしくは郊外に位置する、学生数1万6千～4万人（岩手大学の3～7倍）の総合大学です。国際対応も進んでおり、例えば、キングモンクット工科大学トンブリ校やタマサート大学では、工学部内に英語で学位を取得可能なコースを有しています。また、留学生の送り出しも盛んで、キングモンクット工科大学トンブリ校などの卒業生5名が、今年度以降、本学大学院へ留学することが決まっています。今年8月30日にバンコクで開催される日本留学フェアには、本学職員とともに研グロ室員1名も参加し、タイの学生達へ直接、本学への留学をアピールする予定です。



タマサート大学（Rangsit キャンパス）

1934年創立の国立大学。Tha Pra Chan（文理学部が主で王宮近くに位置）、Rangsit（工学部等）など4キャンパスがあり、17学部、4カレッジなどから構成。約3万4千人の学部・大学院生が学ぶ。今年も「さくらサイエンスプラン」で学生2名を招聘予定。



チュラロンコン大学

1917年創立の国立大学で、タイ王国で最も古い大学。19学部、23カレッジなどから構成。約3万8千人の学部・大学院生が学ぶ。

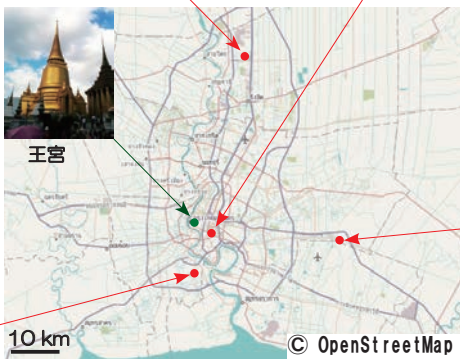


平成27年3月31日学術協定の継続に併せて、理学部の数学・コンピュータ科学科のリビコン先生を招聘し、銀河レクチャーを開催しました。

平成26年4月から1年間、化学工学科のポントーン助教を特任准教授として受け入れ、NEDO委託事業の研究開発に従事して頂きました。8月にはJST「さくらサイエンスプラン」の支援の下、同学科の学生2名を受け入れました。（写真：平成27年3月の送別会にて）

タイ王国について^{※2}

首都はバンコク。総人口約6,600万人（うちバンコクは約830万人）。国土面積は日本の約1.4倍、バンコクの年間平均気温は29.1℃。時差は2時間。なお、平成27年6月現在、岩手大学への留学生は、大学全体で7名（うち工学部1名、工学研究科2名）。



王宮



キングモンクット工科大学 ラドカバン校

1960年創立の国立大学。7学部、4カレッジから構成。約3万人の学部・大学院生が学ぶ。



キングモンクット工科大学 トンブリ校

1960年創立の国立大学。3学部、1カレッジ、2スクールから構成。約1万6千人の学部・大学院生が学ぶ。



平成26年11月17日～11月19日

本学工学部の吉森准教授と大坊准教授が、キングモンクット工科大学ラドカバン校とトンブリ校を訪問し、大学紹介などを行いました。（写真左：トンブリ校校門前にて、大坊准教授と本学卒業生のパイリントラ先生。写真右：ラドカバン校理学部と部局間協定締結時の様子）



平成27年3月25日～3月28日ラドカバン校理学部から、ドゥサニー学部長をはじめとする7名の研究者が来学し、研究室訪問、船崎工学部長表敬訪問、銀河レクチャーを実施しました。

出典：※1 日本政府観光局（JNTO）
※2 タイ日本国大使館 HP

★ さくらサイエンスプラン、今年も実施します

昨年度に引き続き、国立研究開発法人 科学技術振興機構の平成27年度日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）の支援をうけて、中国から8名、タイから2名の計10名の大学生・大学院生を本学工学部に招聘することが決定しました。

今回のテーマは「岩手の“大地”と“復興”と“未来”とし、岩手県沿岸部への1泊2日の合宿型被災地学修をメインとしています。被災地学修では、招聘学生に岩手の素晴らしい大地と海を味わってもらうとともに、被災地の現状を直接体感し、本学学生と議論を交わしてもらうことで、学生同士が共に学び合う場とする予定です。

また、招聘学生は、他にもオープンキャンパスの見学、講演会への参加、本学学生との発表会の実施を予定しています。講演会や発表会の会場は自由に入場できます。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

招聘学生を見かけた際は、思い切って話しかけてみてはいかがでしょうか。新たな刺激と出会いの場にもなるかもしれません！

招聘学生のスケジュール

【1日目】 8月 4日（火）	各国より来日、盛岡へ	会場は入場自由です！
【2日目】 8月 5日（水）	オリエンテーション 講演会、招聘学生・本学学生の発表会 ※詳細は、学内でのポスターにて周知	
【3日目】 8月 6日（木）	オープンキャンパス 研究室での交流会	学内のどこかを 見学しているかも..
【4日目】 8月 7日（金）	三陸ジオパーク見学 被災地学修（主に田老地区）	
【5日目】 8月 8日（土）	被災地学修（主に大槌地区）	
【6日目】 8月 9日（日）	日本科学未来館、国立科学博物館見学	
【7日目】 8月 10日（月）	成田空港～各国へ帰国	



昨年度のさくらサイエンスプランにおける招聘学生達。中国・モンゴル・韓国・タイ・マレーシアから計14名が参加しました。

★ 博士課程進学サイト、ついにOPEN!!

『大学院博士前期課程を修了したらやっぱり就職!!』…と当たり前のように考えている大学院修士学生の方々に、博士後期課程進学を選択肢の一つとして考えるきっかけになればと思い、研グロでは「岩手大学大学院工学研究科 博士課程進学情報サイト」を立ち上げました。博士と修士の違い、在学中の支援体制、各種インタビュー（在学学生4名、修了生8名）、卒業生・修了生の就職先企業へのアンケート結果、博士号取得後の進路状況、など博士課程に関する様々な情報をお届けします。

本サイトへは、

- ① 岩手大学工学部・大学院工学研究科HPのトップページの右側にある青色のバナーをクリック
- ② <http://www.global.eng.iwate-u.ac.jp/doctor/> のURLを入力、もしくは、スマートフォン、携帯電話で専用QRコードを読み取りのいずれかの方法によりアクセスできます。

進学に関する不安や疑問点が解消され、博士後期課程進学が学生にとって少しでも敷居の低いものになれば嬉しく思います。



ページの一部。「はじめに」には研グロ・吉澤室長からの挨拶が掲載されています。



本サイト用QRコード。スマートフォンまたは携帯電話で読み込んでアクセスしてみてください。

掲示板

★ 中国・清華大学深圳研究生院と部局間協定を7月に締結予定

清華大学深圳研究生院は、大学院の教育研究院（約2,600人の院生が在籍）で、主に表面処理工学や腐食防食分野で交流を行う予定です。今回の締結により、本学工学部の部局間協定数は計17件（中国は計5件）となります。

★ 今年度も海外からお客様が来日しました！

6月16日（火）にモンゴル国立大学のエンフバヤル先生にご講演いただきました。同先生は、昨年10月まで学術研究員をされていた方で、関わりのあった教職員や学生が多数聴講しました。また、17日（水）には、中国・清華大学の林紅教授、石京教授のお二人にご講演いただきました。清華大学は中国でトップクラスの大学であり、普段はなかなか交流の機会がない先生方のお話を聞ける場となりました。今までの銀河レクチャーの報告書は、工学部HPに毎回アップしていますので、是非ご覧ください。

編集後記

今回の特集では、タイ王国の協定大学との交流についてご紹介しました。協定校と岩手大学双方の国際交流の結果、協定校の学生が、日本に興味を持ち、さらには岩手大学の大学院に留学を希望してくれたと聞いて、大変嬉しく思いました。

また、さくらサイエンスプランの被災地合宿では、いつも接している人・場所とは異なる環境に身を置くことで、招聘学生と岩手大学生がともに、新たな学びを吸収してくれることでしょう！

編集局：

工学部研究高度化・グローバル化特別対策室
Email: kenguro@iwate-u.ac.jp
TEL: 019-621-6405